

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年6月22日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0890700016		
法人名	株式会社 フレンド		
事業所名	ふれんど小規模多機能施設 結城	ユニット名	
所在地	〒307-0001 茨城県結城市大字結城11766-3		
自己評価作成日	平成27年1月19日	評価結果 市町村受理日	平成27年6月30日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_021_kihon=true&JigyosyoCd=0890700016-00&PrefCd=08&VersionCd=021
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成27年2月10日	評価機関 決 済 日	平成27年6月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

地域での暮らしを継続していくことが出来るように訪問等に力を入れて、通所だけでなく伺って安否確認、身の回り等お世話します。通所についても、朝早い時間より受け入れを行っており、利用者様、家族様の都合により対応致しております。また、事業所職員による認知症サポーター講座を行ったり、地域の方との交流を取る様努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は車の往来が激しい幹線道路沿いに立地しており、周りは新興住宅地で活気に満ち溢れ、地域住民との関わりが多くもてる環境となっているほか、事業所前は地域の小学生の通学路となっていることから、登下校時のほか地域の子ども達の避難場所になっており、日頃から地域と連携を図っている。

家族等から「通いサービスの送迎の時間を調整して欲しい」との要望を受け、家族等の帰宅が遅くなる時は夕食を提供するなど、小規模多機能型居宅介護支援事業所の特性を活かした支援に力を注いでいる。

職員は利用者の外出や外食、買い物などの希望がある場合には何事も先送りはせず、利用者と相談をしながらドライブを兼ねた外食や買い物に出かけるなど、常に利用者本意の支援を心がけている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝ミーティングを行い、伝達事項や気を付けて支援する事項を伝え、理念を唱和し気を引き締め、朝の挨拶をします。	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念を掲げ、出勤時に確認ができるよう玄関や居間兼食堂に掲示している。管理者と職員は月1回の職員会議時に理念にそって支援ができているかを再確認しながら共有し、実践に結び付けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域、ふれんどお互いの行事に声をかけあい、民謡ボランティアに来ていただく、夏祭りを開催するなどをし、老人会や近隣の方々に参加していただき、交流を図っています。	毎年夏に利用者や家族等、地域住民との交流を目的とした夏祭りを併設する通所介護事業所と合同で開催し、家族等や地域住民を招待して利用者が交流できるように支援をしている。 夏祭りではヨーヨー釣りやボウリング、パン食い競走などの催しのほか、綿あめやかき氷などを無償で提供し、50人程の参加を得ている。 民謡や習字教室、大正琴などのボランティアを定期的に受け入れ、利用者が地域の人々とつながりながら過ごせるように支援をしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	老人会、自治会に出かけ、ふれんど施設の説明し、内容等を理解していただくよう努めています。また、地域住民の方々と行事交流を行い、認知症についての理解をしていただけるよう声掛けをしております。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	5、7、9、11、1、3月に開催し、家族様、市役所、職員との交流として話し合いをして、事業所内容を説明し、市役所、家族様の意見を取り上げております。	運営推進会議は家族等や市職員、管理者で開催しているが、2ヶ月に1回開催するまでには至っていない。 以前開催した運営推進会議では、自治会役員や民生委員の参加を得ていたが、現在は参加を得るまでには至っていない。 家族等から「会議の開催は土曜日の方が参加し易い」との意見を受け、土曜日に開催して多くの家族等の参加を得ている。 会議では利用者の生活の様子や運営状況の報告を行うとともに、委員から出た意見や助言をサービスの質の向上に結び付けようとしているが、委員からは「感謝の気持ち」のみで、意見や助言を得るまでには至っていない。	昨年度の課題でもあった、「2ヶ月に1回の開催」が達成されていないので、引き続きその実現を期待する。 多くの参加を得て意見や助言を得る活発な会議となるよう、年間計画に開催日を組み込むとともに、事前に次回の議題等を委員に伝えておくなどの工夫を期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	疑問等があったら、すぐに指導していただいております。また、市主催の研修等に参加させていただいております。	管理者は毎月市担当者を訪問し、運営状況や空き情報を報告するとともに、介護保険制度や利用者の家族等からの事業所運営に係る質問を相談している。 市担当者からは郵送やファックスで介護保険制度の改正や研修、案内についての情報提供を受けるなど、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者様一人ひとりを把握し、寄り添いを行い決して身体拘束のないよう取り組んでいます。書面等には起こしていませんが、事務所内の見やすい位置に「身体拘束等排除のための基本方針」を掲示し、職員の意識付けを行なっております。	事業所内に「身体拘束等排除のための基本方針」のポスターを掲示している。 月1回の職員会議では、玄関の施錠をしない取組みや身体拘束をしていないかの確認をするとともに、外部研修を受講した職員が講師となったケアの研修会により、全職員が身体拘束の内容とその弊害を理解している。 現在身体拘束はしていないが、今後やむを得ず身体拘束をしない場合に備え、書類を整備するまでには至っていない。	運営規定の「介護にかかわる基本方針」の中で、記録すると表記していることから、やむを得ず身体拘束をしない場合に備え、「同意書」や「経過観察記録」、「再検討記録」などの書類を整備することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者様、ご家族様の様子観察を行い、異変を見逃さず、決して虐待があってはならない様に職員一同防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	自立支援事業や成年後見制度について学び、市役所等に相談しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には二名で伺い、漏れがないよう説明し、疑問点をおっしゃっていただき、最終的に理解し納得していただけるよう図っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様の意見は即取り上げ、職員で話し、又全体ミーティングにて共有し、運営に反映させていただいております。	管理者や職員は、利用者との日々の会話から意見や要望を聴いているほか、家族等には送迎時やサービス提供記録手帳に記載してもらったり、電話などで意見や要望を聴くように努めている。 利用者や家族等に無記名のアンケートを実施しているが、回収率が低く、感謝のみの意見を得ただけであった。	運営推進会議に家族等の参加が多く得られていることから、会議の中で「どのようにしたら家族等から運営に反映させる意見や要望が得られるか」について話し合うことを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回ほどに話し合いも場を設け、意見交換をしております。	管理者は月1回の職員会議時に職員の意見や提案を聞く機会を設けているほか、休憩時間にコミュニケーションを図り、日頃から何でも言い合える関係づくりに努めている。 職員から「通所介護事業所と一緒にいるカラオケでは利用者が遠慮して歌えないので、カラオケ機器を購入して欲しい」や「おやつ作りにホットプレートがあると良いのでは」などの意見や要望を受け、管理者はカラオケ機器とホットプレートを購入し、職員の意見や提案を反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に二度、職員の勤務状況等を上司に報告し、職員が働きやすい環境条件に努めております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内、市、県他の研修に参加できるように、機会の確保に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他事業所との主任会議、管理者会議等を設け、又、スキルアップの向上に向け勉強会を開いております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人様に、どうしてほしいか、要望、不安を伺い、聞き入れております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期の訪問時に本人様、家族様が困っていること、要望を聞き、又施設として出来る事を説明し、信頼関係を築いております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメント時に本人様、ご家族が一番してほしい、困っている事を見極め、他のサービスを含め対応する。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人様の代弁者として、職員間で話しを持ち、どうしてほしいかを探し支援します。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人様とご家族の両方の立場を大切にし、お互いの話を聞きながら、良い関係を築きながら支援する。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	来訪して頂いた利用者様の知人、ご友人を大切にし、又、来て頂けるようお手伝いします。	職員は利用者との日々の会話や家族等から話を聴き、利用者が築いてきた馴染みの人や場所を把握するように努めている。 利用者の馴染みの友人や親戚が来訪した際には、お茶を出して居心地よく過ごせるように努め、馴染みの人との関係が途切れないように支援をしている。 利用者が墓参りや馴染みの店、旅行などに行きたい場合には、家族等に伝えて協力を得るなどにより実行に移し、馴染みの人や場所との関係が継続できるように支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が楽しんで来所して頂けるよう、行事や利用者様の関わりに気を付けています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も家族様と連絡を取ったり、本人様に会いに行ったりし、関係を保っております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人様の意思を確認し、達成が困難な場合はご家族様の意見を尊重しております。	管理者や職員は契約時のアセスメントから利用者の生活歴を把握するとともに、日々の関わりの中で会話や行動を観察することにより、利用者の思いや意向の把握に努めている。 現在、意思疎通が困難な利用者はいないが、困難な利用者には表情やしぐさから判断したり、送迎時に家族から情報を得て職員で話し合い、利用者の思いを汲み取る方針である。 把握した内容は「個人ファイル」や「申し送りノート」に記載して、全職員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様、ご家族様、知人から情報を集め、利用時のサービスや行事に繋げております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの状態を把握し、利用に努めております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	状態を把握し、必要な時に話し合いを持ち、現状に即したケア計画を作っております。	介護計画は利用者や家族等の意見や要望、主治医、福祉用具事業所担当職員、管理者の意見をもとに作成している。 毎月モニタリングを実施するとともに、必要に応じてサービス担当者会議を実施して6ヶ月から1年毎に見直しをしている。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、その都度現状に即した介護計画に見直し、利用者や家族等の確認を得ている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を記入し、毎朝特別な注意、気づきを発表し、一日一日の支援に繋げております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様の状態、環境に合わせ、通所、訪問、宿泊を組み合わせ、利用しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人様、近隣の人達、民生委、市役所、包括センターの方々の協力を得て支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様の相談に乗って新しい病院を選んだり、現状態によっては同行し、医師との話し合いにも参加します。	契約時に利用者や家族等に希望するかかりつけ医への受診が可能で、協力医療機関の医師をかかりつけ医にできることを説明している。 かかりつけ医への受診は家族等の付き添いを基本としているが、家族等から職員の同行を希望された場合には、職員も一緒に受診に同行している。 受診結果は家族等から報告を受け、「個人ファイル」や「申し送りノート」に記載し、全職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者様に特変があった時、また、体調の変化等に適切な看護、受診が受けられる様支援して行きます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時、病院と情報交換し、又、退院に向けて良い支援ができるよう病院と協力しております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	必ずご家族様から今後の希望、要望を伺い、当施設も出来る限りのお手伝いをするが、家族様も困難になった時に備え、手続きなどもお話ししております。	事業所は看取りをしない方針であるため、管理者は利用者や家族等に、重度化した場合の説明はしているが、昨年度の課題でもあった「事業所の看取り指針や重度化した場合の対応の明文化」をするまでには至っていない。	昨年度の課題でもあった「事業所の看取り指針や重度化した場合の対応の明文化」や「重度化した場合の事業所の対応に関する同意書の作成」などが達成されていないので、引き続きその実現を期待する。 管理者と職員は、利用者が重度化した場合に備えて研修を実施することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故に備えて、ADLの講習や心肺蘇生法の研修などに参加し、応急手当や初期対応の訓練をしております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を毎年行っております。また、近隣地域の方々との協力が充分と言えない為、協力が取れるよう職員に伝達していきます。	年1回併設する通所介護事業所と合同で、消防署立ち会いのもと総合訓練を実施する際、事業所は夜間想定避難訓練も実施しているが、年2回以上の避難訓練や近隣住民の参加を得た避難訓練を実施するまでには至っていない。 訓練後「消防訓練実施結果報告書」は作成しているが、反省点や今後の課題などを職員で話し合い、記録に残すまでには至っていない。 非常時に備えて水やビスケットの缶詰、フットカイルなどを備蓄しているが、一覧表を作成して数量や賞味期限を管理するまでには至っていない。	昨年度の課題でもあった「年2回以上の避難訓練の実施」が達成されておらず、重要事項説明書にも「年2回以上避難訓練を実施する」と表記してあることから、引き続き課題を実現するとともに、訓練後は全職員で話し合い、反省点や今後の課題を記録に残すことを期待する。 備蓄品は数量や賞味期限などを記載した一覧表を作成して管理することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人ひとりの人格を尊重し、言葉やしぐさに注意して支援しております。	管理者や職員は、利用者一人ひとりの性格や生活歴を把握するとともに、呼び方や言葉遣いなどに気を配り、言われたくないことを言わないように心がけることにより、利用者一人ひとりの尊厳を大切にしている。 職員はトイレ誘導時には小声で声をかけ、トイレのドアを閉めるなど、プライバシーに配慮した対応に努めている。 個人情報に関する書類は事務室の書棚に目隠しをして保管し、情報漏洩に留意している。 契約時に利用者や家族等に利用者の肖像権を含めた個人情報利用目的は口頭で同意を得ているが、書面で同意を得るまでには至っていない。	利用者の肖像権を含む個人情報の利用に関して、家族等から書面で同意を得ることを期待する。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人との関わりの中、思いや希望をくみ取ることができるよう関わっています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人ひとりの希望に沿って楽しく一日を過ごしていけるよう工夫しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用時は、男性は必ず髭剃り、女性は希望があれば髪を結うなどを行っています。また、入浴等も出来るよう支援し、いつもさっぱりと健やかな気分で見られるよう気を付けております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食のメニューのうち、主菜を二通り用意し、食べたいものを選んでいただけるよう工夫しております、また、外食へお連れし、職員と談笑しながら楽しんで召し上がっていただけるよう支援しています。	委託業者が作成した献立の食材が届き、調理担当職員が調理をして提供をしている。 献立は2種類あり、利用者が希望の昼食を選択できる仕組みになっているほか、定期的にバイキング方式での提供や、年4回から5回外食を支援したり、誕生会には職員の手作りケーキで祝うほか、おやつ作りをしたりして食事が利用者の楽しみとなるよう支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養状態、水分摂取量を状態に応じてチェックしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、本人の状態に応じた口腔ケアを行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	誰もオムツを使わないでいられるよう、時間、本人の排泄パターンを知り、個々人に応じて誘導しております。	職員は排泄チェック表を活用して利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、タイミングを見計らってトイレ誘導を行うなど、トイレで排泄ができるように支援をしている。 夜勤の職員は、宿泊サービスを利用している利用者が、夜間でもリハビリパンツとパッドの使用でトイレで排泄ができるように、利用者合った声かけを心がけている。 失敗してしまった場合には、周りに気付かれないうさりげなくトイレに誘導しており、利用者の自尊心を傷つけないよう配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便のチェックをご家族と協力し行っております。また、医師にも相談し本人の負担にならない様支援しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	デイサービスと一緒に入浴時間となっているため、現状、曜日を決めて誘導となっています。入浴形態は、本人の状態に合わせ、一般浴、リフト浴、特浴と分けて入られています。	通いサービスを利用している利用者の入浴は週3回を基本としている。 入浴時には、併設する通所介護事業所と協力しながら浴室内は2人、着脱は3人体制で支援をしている。 利用者の状態や希望にそって入浴日や時間帯を変えたり、一般浴や機械浴、リフト浴、シャワー浴、足浴など、個々に応じた支援をしている。 入浴を拒む利用者には無理強いせず、職員や時間帯を変えたり、利用者の興味のある話をしながらさりげなく誘導し、「大きなお風呂の温泉に入りましょう」や「せっかく来たのだからお風呂入って行きましょう」などと声かけに工夫をしている。 温泉気分が味わえるよう入浴剤を使用したりして、入浴が楽しみなものとなるよう支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人の希望により休息していただき、安心して気持ちよく休まれるようにしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の作用及び副作用を職員が理解し、個人個人の薬は必ず看護師が用意し、手渡しして飲んでいただいております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	テーブル拭きや、おしぼり配り、洗濯物たたみなど、出来る事は進んで手伝って下さいます。利用者様は仕事に来ていると思われている方が多く、喜んで手伝って下さいます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	行事的に、または突発的にドライブに行くなど、戸外の空気に触れ、気分転換を図っております。	天気の良い日には、利用者と職員が事業所周辺を散歩しており、利用者の五感を刺激するとともに、外気にふれられるように支援をしている。 外出計画を立てる際は、インターネットで情報を得るとともに、職員が下見をしている。 花見やドライブを兼ねた外食を取り入れるなど、利用者が四季の移り変わりを肌で感じたり、気分転換を図れるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	行事に買い物を入れ、ご家族の了承をいただき、外出して好きな食べ物を買っていただく行事を行っております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	毎年、年賀状作りを支援し、本人様の好きな方の所へ出しております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	皆様に空間を利用し楽しんでいただけるよう、本人様が塗られた塗り絵や、皆様の写真、一緒に作られたカレンダーなどを飾っています。また、冷暖房器具で室温を一定に保つ、花をテーブルに飾る等、落ち着いた空間を提供しています。	玄関の棚には外から細菌を持ち込まないように手指消毒薬やマスクのほか、ノロウイルス対策に次亜塩素酸洗浄剤を置いて衛生管理をしている。 居間兼食堂の窓からの採光で、部屋全体が明るい環境になっているほか、壁には利用者が制作した季節を感じさせる手作りカレンダーを飾っている。 浴室の脱衣場には利用者の転倒防止に椅子を配置しているほか、浴室との温度差がないようにエアコンを設置し、利用者が安全に入浴ができるよう支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った利用者様がお話ししたりお昼寝できるよう、居場所、席を工夫しています。	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔で気分よく泊まれたり、安心して暮らせるよう工夫しています。	居室にはエアコンやベッド、カーテン、洋服箆笥が備え付けられている。 管理者は利用者が宿泊を利用する場合には、以前利用者が宿泊をした部屋を提供するよう配慮をしている。 利用者は家族等と相談しながら、時計や洗面道具、洋服など、使い慣れた物品を持ち込んで居心地よく過ごせるよう工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人のやりたい事は進んで協力し、一人一人が転倒、転落なく自立した生活に向け協力しています。	/	

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が ○ 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 ふれんど小規模多機能施設 結城

作成日 平成27年6月30日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の「2ヶ月に一回の開催」が達成されていない。	2ヶ月に一度、必ず開催できるようにする。	5月に27年度第一回を開催し、その際に「奇数月の月末、土曜日に開催する」旨を出席者に伝える。出席できなかった家族には議事録を送付し、行われた会議の内容を報告する。また、年間計画を作成、開催予定日を組み込む。	一年
2	35	避難訓練の年2回の実施。	年に2回、必ず避難訓練を実施する。	6月に日中を想定した避難訓練を実施、11月に夜間想定避難訓練を実施するよう年間計画に記載。	6ヶ月
3	33	看取り指針や重度化した場合の対応の明文化や、重度化した場合の事業所の対応に関する同意書の作成。	看取り対応や重度化した場合の対応を明文化し、同意書を作成する。	職員や上司と話し合い、ふれんど結城としての方針を決める。	3ヶ月
4	36	利用者の肖像権を含む個人情報に関する、書面による家族の同意を得る。	書面を作成し、家族の同意を得る。	書類を作成、各ご家族と話し合い、全ての利用者様及び家族から肖像権の利用に関する同意を得る。	一ヶ月
5	6	会議の中でどのように家族の意見、要望を得るか。	無記名アンケートを改めて作成、ご家族に提出して頂けるよう声掛けをする。	ケアマネジャーの利用票説明時などに、ご家族に「アンケートは記入していただきましたか？」等の声掛けをし、回収率を高める。また、職員、家族間でも話し合いを行う。	6ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。